

令和8年度 予算案概要

記者会見資料



令和8年度予算は、

みんなの思いをつなぐ予算

～いきいきと住み続けられる 心豊かなまちを目指して～

と位置づけ、以下の4点を基本に編成しました。

- 1 少子高齢化や物価高騰の長期化、自然災害への備えなど、様々な課題に直面する区民生活を支え守るため、「子育て」、「教育」、「福祉」、「健康・医療」、「防災・防犯」、「まちづくり・環境」、「地域活性化・魅力発信」、「行政改革」等の各分野の施策について、積極果敢に展開すること
- 2 明るい未来につながる区政の実現に向け、より幅広い区民参画を通じて、多様な意見を取り入れるなど、区民のニーズに的確に応える取組に重点的に予算を配分すること
- 3 既存事業については、現行の枠組みにとらわれず、徹底した精査・見直しを図るなど、選択と集中の観点から、改めて再点検を行い、限られた財源を最大限有効に活用すること
- 4 自主財源をはじめ、国庫補助金等の戦略的な財源確保に積極的に努めるとともに、将来の財政負担等を十分に考慮した上で、基金や起債を効果的に活用するなど、中長期的な視点に立った財政運営を行うこと

いきいきと住み続けられる心豊かなまちの実現に向けた取組に重点的に予算を配分した結果、

令和8年度予算は前年度比約48億円増の **過去最大の予算額を更新**

1,367.2 億円

(億円)

1600

1400

1200

1000

800

600

400

200

0

1,071.6

令和4年度

1,133.7

令和5年度

1,219.0

令和6年度

1,319.3

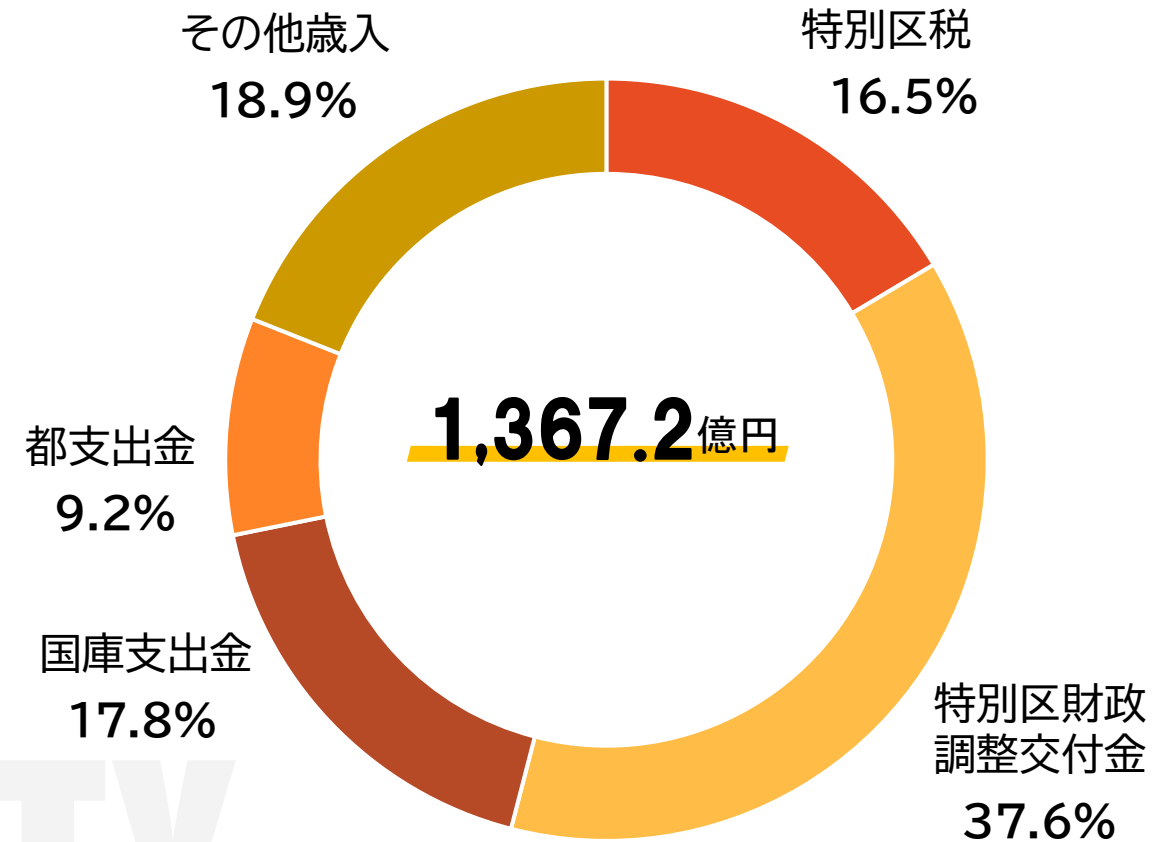
令和7年度

令和8年度

一般会計歳入内訳表

	令和8年度	対前年度 増減額
特別区税	225.0 億円	16.1 億円
特別区財政 調整交付金	514.2 億円	31.9 億円
国庫支出金	243.5 億円	14.3 億円
都支出金	125.8 億円	6.2 億円
その他歳入	258.7 億円	▲20.6 億円
総 計	1,367.2 億円	47.9 億円

一般会計歳入構成比

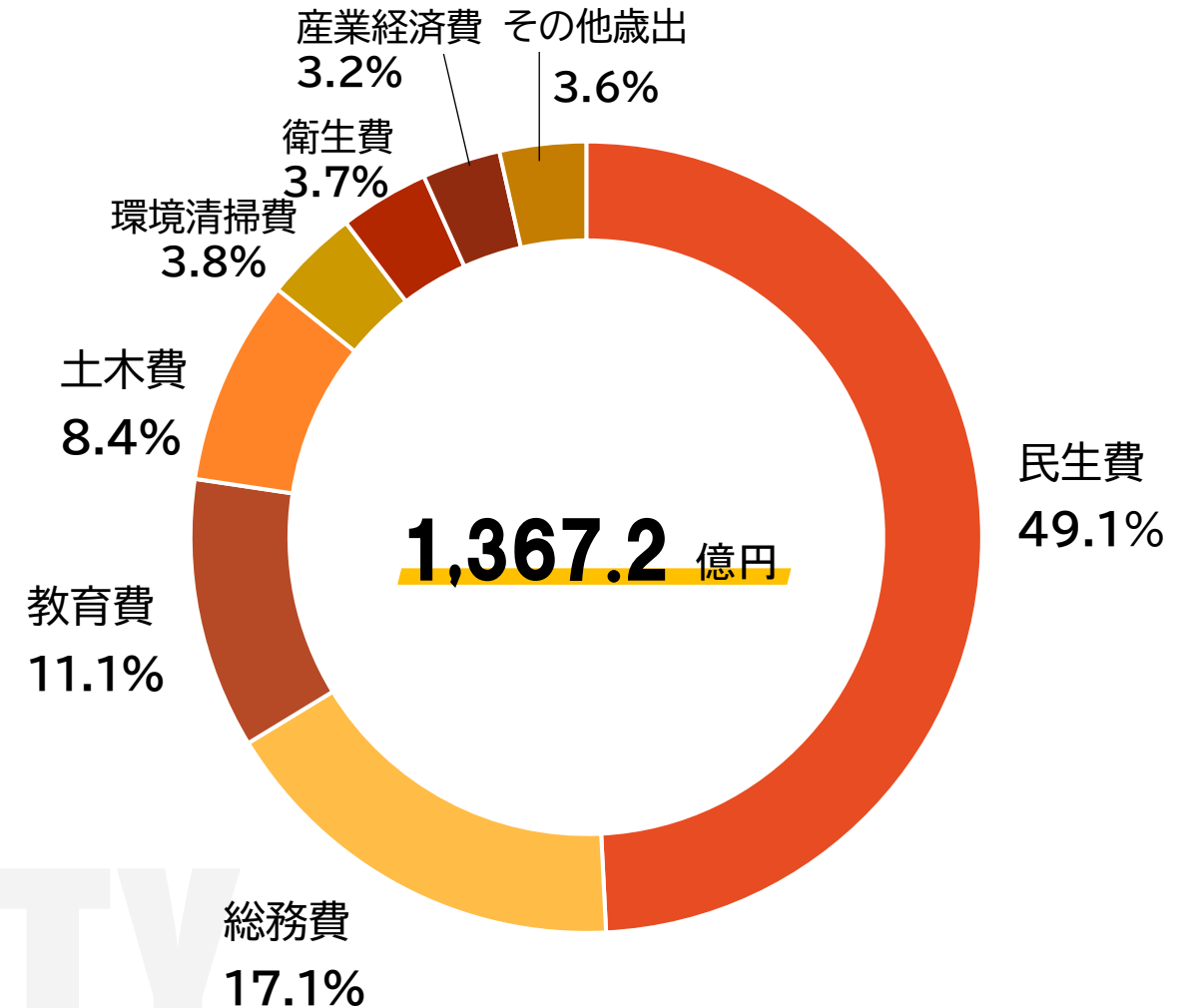


ARAKAWA CITY

一般会計歳出内訳表

	令和8年度	対前年度 増減額
民生費	672.0 億円	▲11.8 億円
総務費	233.8 億円	20.7 億円
教育費	151.4 億円	18.1 億円
土木費	115.1 億円	4.8 億円
環境清掃費	52.6 億円	4.8 億円
衛生費	50.0 億円	▲2.6 億円
産業経済費	43.9 億円	13.9 億円
その他歳出	48.4 億円	▲0.0 億円
総 計	1,367.2 億円	47.9 億円

一般会計歳出構成比



重点事業



(目次) ●のついている施策は、最重点施策「**GAJU推し**」です。

子育て 子育てを支え、子どもたちを守る

- 1 ● 健やかな育ちのための産後事業の充実
- 2 ● 子ども・子育て世代に優しい施設のガイドラインの策定
- 3 特性に応じた育ちにつなげる5歳児健診の実施
- 4 放課後等の児童の生活の場の充実
- 5 ● 暑くても楽しい夏休みを過ごせる子どもの遊び場の確保
- 6 ● ケアリーバーのより良い巣立ちのための支援の拡充
- 7 ● ひとり親家庭の住まいの安心に向けた支援の拡充

教育 学びの環境を整え、可能性を広げる

- 8 学びの場の充実に向けた学校施設建替えの取組の推進
- 9 教育機会確保のための特別支援教育の体制強化
- 10 ● 世界につながる人材育成のための英語教育の充実
- 11 地域で育てる中学校部活動の「地域連携」の拡大

福祉 あらゆる人に、安心を届ける

- 12 ● 元気高齢者を増やすための外出支援
- 13 高齢者のデジタルデバインド解消に向けた支援の充実
- 14 支え合いのための認知症支援団体に対する支援の充実
- 15 ● ケアマネジャー採用・定着促進に向けた支援の実施
- 16 住み慣れた町で暮らすための重度障がい者グループホームの整備
- 17 切れ目のない障がい者の日常生活支援の拡充

健康・医療 健康を守り、健康寿命を延ばす

- 18 ● 区民の健康を守るための子どもや高齢者に対するワクチン接種の拡充
- 19 安心できる自宅等での在宅医療の提供体制の強化

防災・防犯 ひとりの命も犠牲にしない

- 20 備えを安心につなげる備蓄物資及び備蓄スペースの拡充
- 21 ● 住民による地域防災力向上のための災害対応体制の強化
- 22 在宅避難のためのマンション防災対策の強化
- 23 犯罪に巻き込まれないための中学生への闇バイト対策の充実

まちづくり・環境 住みたいと思えるまちを創る

- 24 住民等が主体となった地域交通に対する支援の実施
- 25 ● 地域のシンボルとなる宮前公園の整備(第三期整備区域)
- 26 ● 自由な遊びの場を広げる公園の充実
- 27 地域の防災力底上げのための安全・安心なまちづくりの推進
- 28 気候変動から区民を守るエコ助成のさらなる充実

地域活性化・魅力発信 賑わいを生みだし、魅力を発信する

- 29 地域経済活性化のための、ものづくり企業エコシステムの構築
- 30 ● 経営基盤強化のための地域企業持続的成長(ASC)プロジェクト
- 31 区内消費を喚起するデジタルによるプレミアム付きお買い物券の発行
- 32 ● さらなる魅力発信のためのシティプロモーションの推進
- 33 来街者の満足度を高める観光資源の発掘と賑わいの創出
- 34 ゆいの森あらかわ10周年記念事業の実施

行政改革 次のステージに向けて、さらに進化する

- 35 ● 2040年の未来につなぐ荒川区基本構想等の策定
- 36 ● 爆速でDXを進めるための行政手続のオンライン化の拡充



産後の初期段階の支援を強化し、子どもを産み育てやすい環境整備を推進

施策内容

- ◆母親の産後の健康状態を確認するとともに、精神状態の把握等を行う産婦健康診査及び乳幼児の疾病等の早期発見、進行の未然防止など適切な指導を行う
1か月児健康診査の費用を新たに助成
- ◆出産後1歳までの母子に対し、医療機関等で助産師等による育児支援や心身のケアを提供する産後ケアに関し、区の負担額を増額
- ◆男女共同参画やワーク・ライフ・バランスの推進に向け、育児の担い手としての父親の子育てへの支援の視点を取り入れた講座を拡充





子ども・子育て世代に優しいまちづくりに向け、施設のガイドラインを新たに策定

施策内容

- ◆おむつ交換台、授乳スペース、トイレ、ベビーカー置き場等の環境整備の考え方をわかりやすく説明したガイドラインを策定
- ◆子育て世代が施設や店舗等を利用する際の留意点を把握するため、アンケート調査やワークショップを行い、ニーズを確認
- ◆ガイドラインを踏まえた施設づくりに向け、普及啓発を実施



▲おむつ交換台



▲ベビーカー置き場



夏休み期間に子ども向けの涼しい遊び場を確保 区内全域でイベント開催 & HPに特設ページ開設

施策内容

- ◆猛暑でも子どもが涼しい場所で安全に楽しく遊べるよう、区内公共施設で夏休み期間限定のイベントを多数実施
- ◆会場はふれあい館、ひろば館、文化施設等のほか、スポーツセンターでは夏休みの子ども向け事業を拡充
- ◆区公式ホームページに子どもの遊び場に関する特設ページを開設



▲スポーツセンター実施イメージ



▲7年度の実績(そうめんパーティー)



児童養護施設や里親などのもとを巣立つ若者への 経済的支援を拡充

施策内容

- ◆就職や進学等により、社会的自立に向けて頑張る若者を応援するため、これまでの支援に加え、児童養護施設等退所時一時支度金の補助上限金額を拡充（上限20万円 ⇒ 上限30万円）
- ◆その他の補助項目
 - ・民間賃貸住宅保証料補助金（契約時：上限5万円、更新時：上限2万円）
 - ・資格取得費用補助金（上限30万円）





ひとり親家庭が安心して生活できるよう 住み替えにかかる費用を新たに助成

施策内容

◆ひとり親家庭の住み替えの際に初期費用を助成(最大40万円)

引越代、前払家賃(管理費・共益費含む)、礼金、仲介手数料、住宅総合保険料、火災保険料などの転居費用について幅広く支援

◆23区初の助成

・多子世帯(扶養する子どもが3人以上いる世帯)は5万円上乘せ



ARAKAWA CITY



未来を拓く子どもたちが、国際社会で活躍できる力を育成するための英語教育の充実

施策内容

- ◆ 実用英語技能検定(英検)の受験費用補助(年1回)の対象を、中学校第3学年から中学校全学年に拡大
- ◆ 中学校教員が小学校の英語教科書を教材研究や指導に活用し、小学校での成果が中学校へ確実につながる教育を実施
- ◆ 区立全小・中学校に各1名配置している外国人英語指導員(NEA)を小学校モデル校1校に増配置し、子どもたちが日常的に「生きた英語」に触れる機会を拡充





施策内容

高齢者のフレイル予防を支援するため東京都 シルバーパス購入費用の一部助成を継続

- ◆外出の支援・促進のため、区内在住の70歳以上の高齢者が所得にかかわらず1,000円で東京都シルバーパスを購入できるよう、購入費を助成
- ◆東京都シルバーパスの購入費用助成は令和7年10月に開始しており、23区で初の取組



▲都電荒川線(シルバーパスが利用可能な交通機関の例)

ARAKAWA CITY



「教えるゆとり」を生み出し、ケアマネジャーの確保・定着を支援

施策内容

- ◆実務未経験者や、資格を持ちながら現在は実務に就いていないケアマネジャーの採用・育成に取り組む区内の居宅介護支援事業所を支援
- ◆実務を通じた指導(OJT)の期間中に生じる事業所の減収分を補填するため、対象職員1人あたり最大60万円(月額20万円×3か月)を支給
- ◆新人ケアマネジャーが安心して業務を習得できる環境を整えることで、職場への定着を促し、区内介護サービス提供体制の基盤を強化





施策内容

子どもと高齢者の感染症の発症、重症化を予防し、健康を守るため、ワクチン接種費用助成を拡充

- ◆新たに定期接種化される「RSワクチン」の予防接種を開始するほか、高齢者に対する「高用量インフルエンザワクチン」の無償接種を実施
- ◆区独自で実施している、小児への「おたふくかぜワクチン」の助成回数を拡充するほか、新たに薬事承認された男子への「HPV感染症の9価ワクチン」に対する助成も実施



▲イメージ

ARAKAWA CITY



地域の防災力を強化するため、防災士資格取得補助 対象の拡大、避難所へのPC配備

施策内容

- ◆防災士資格取得補助の対象に、町会・自治会の推薦を受けた方を新たに追加し、地域で活躍できる防災士を育成する。資格取得後は「あらかわ防災リーダー」への登録を促し、区の防災事業とも連携
- ◆各町会・自治会での防災訓練や、発災時における避難所運営を主体的に担うなど、住民主体による地域防災体制を強化
- ◆全一次及び二次避難所にノート型パソコンを配備することにより、災害対策本部との連絡体制を強化



▲避難所開設運営訓練



毎日の暮らしに潤いを届け、災害から区民を守る公園 宮前公園第三期の整備開始

施策内容

◆地域のニーズに応える様々な機能

- ・夏の直射日光をさえぎる大屋根がある芝生広場
- ・暑い日に大人気の水遊び施設
- ・誰もが遊べるインクルーシブな遊具広場

◆防災活動拠点となる機能

- ・避難所生活に必要な物資を保管する大型備蓄倉庫
- ・地下水を災害医療などに使用するための浄水施設
- ・継続的な消火活動が可能な永久水利施設



▲イメージパース



自由な発想で遊べる「プレーパーク」を実施するなど、 多様なニーズに応えられる遊び場づくりの推進

施策内容

◆区内6箇所出張型プレーパークを実施し、公園の新しい楽しみ方をひろげる

- ・ボール遊び場へのバスケットゴールの設置
- ・公園での身近で気軽なキャンプ体験の提供
- ・手持ち花火ができる「親子花火ひろば」の開設
- ・水遊び施設を6月中旬から9月まで開設
- ・荒川自然公園でのキッチンカーの出店
- ・遊具入れ替え時にインクルーシブ遊具を新たに設置



▲キャンプ体験会(イメージ)



▲プレーパーク(イメージ)



区内企業の経営基盤の強化に向けて、 賃上げ・デジタル化・健康経営・資金繰りを重点支援 ～ Arakawa Sustainable growth of Company ～

施策内容

◆賃上げ実施企業へ設備投資補助を優遇

商業サービス業:補助率1/4→1/2、限度額100万円→200万円

製造業等:補助率1/2→2/3、限度額100万円→200万円

◆中小企業デジタル化支援事業活用事業者にはデジタル化支援を強化

商業サービス業:補助率1/4→1/2、限度額100万円→200万円

製造業等:限度額100万円→300万円

◆配管への断熱材や防護柵の設置等の安全な労働環境整備費を新たに補助

◆健康づくり推進事業所表彰、経済急変対応融資(自己負担0.3%)、 マル経融資の利子1/2補助についても継続実施。



▲イメージ



SNSを活用した区の魅力発信力の強化 “#arakawakulove” なシティプロモーション

施策内容

- ◆より実効性のあるシティプロモーション推進のため、「荒川区シティプロモーション基本方針」を策定
- ◆Instagram等の区公式SNSの配信内容を拡充すると共に、多様な世代に区の魅力を届けるため、新たなソーシャルメディア（TikTok）の運用を開始
- ◆荒川区SNSシティプロモーターや荒川区を愛する多くの方と共に、区の魅力を発信する取組を推進



▲荒川区【公式】Instagramアカウントプロフィール画像



施策内容

荒川区の新たな将来像を示す「荒川区基本構想」を策定し、それに即した街づくりを実現させるための「都市計画マスタープラン」を策定

- ◆幅広い年代の区民や区内関係団体の皆様の意見を取り入れて基本構想を策定あわせて、その将来像の実現に向けた行政運営計画を策定
- ◆学識経験者や区内の団体、議会の代表者が参加する基本構想審議会において、専門的な見地からも審議を継続
- ◆防災、交通、環境などにスポットを当て、区民の意見を十分に反映しながら、持続可能なまちづくりを推進するための「都市計画マスタープラン」を策定



▲基本構想の区民ワークショップ



行政手続を「いつでも・どこでも」実施できるよう、 オンライン手続を拡充

施策内容

- ◆「紙でしかできなかった手続」のオンライン化を加速させ、対象を500件以上に拡大
- ◆行政手続を、簡単に、迷わず、入力できる申請システムへ
- ◆オンライン申請受付後の処理の効率化を加速することで、
持続的かつ実践的な運用体制を整備

<オンライン手続の対応状況>

—	令和6.4.1時点	令和7.4.1時点	令和7.11.1時点
手続数	128件	182件	209件

